

令和3年

第2回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和3年2月22日

令和3年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校教育課】

◇「オンラインで児童生徒と学校がつながるためのモデル校事業 ～非常災害時における臨時休業に備えて～」について

この事業のモデル校である角館小学校の6年生3学級が、12月22日から1月27日にかけて、学級ごとに双方向通信の実証実験を行いました。また、2月6日から8日にかけては5年生が、2月20日から22日にかけては4年生が、「指定された学習動画をYouTubeで見ることができるか」を確認する実証実験を行っています。

これらは、児童全員と学校がオンラインで実際につながることができるのか、できない場合はどんな課題が考えられるのか、ということについて検証するもので、双方向通信は3学級とも全員とつながることができました。

4・5年生もほとんどの家庭において視聴することができ、できなかった児童の理由は「やり方がわからなかった」というのが主なものでした。家庭の通信環境を整えるため、Wi-Fiルーターを貸し出したのは、全体の15%で、夏の調査時よりも各家庭で通信環境の整備が進んだものと思われまます。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や非常災害等により学校が臨時休業となった場合に備えての本実証実験は、新しい学びのスタイルを確立する意味でも重要であると捉えています。

なお、GIGA スクール構想推進事業の進捗については、児童生徒1人1台のタブレット1,591台をはじめ、タブレット保管庫等の設置も終え、新年度からの本稼働に向け順調に進んでいます。

◇2020あきたキッズ プログラミングアワードについて

12月13日、「2020あきたキッズ プログラミングアワード～未来を変えるのは君だ～」の最終審査が行われました。これは秋田魁新報社

が主催する、小中学生を対象にしたプログラミングコンテストです。今回のテーマは「もっとすきになる わたしたちのまち」でした。

117組(154人)の中から、1次書類審査、2次動画プレゼンテーションを経て、アイデアを募るアイデア部門において、神代小学校6年の石川才稀(いしかわ さき)さんが「魁新報社賞」、西明寺小学校5年の福岡舞桜(ふくおか まお)さんが「秋田工業高等専門学校賞」を獲得しました。

今後も、未来を担う子供たちが地域のことを自分のこととして捉え、ふるさとを盛り立てていく気持ちを大切にできる心を育てていきたいと思っています。

◇マーチングバンド全国大会について

1月23日、第48回マーチングバンド全国大会～e-Marching Special Edition 2020～が行われ、角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーが東北代表として出場しました。

今年度は動画での出場となり、事前に録画したものにより審査が行われ、ドリームハーモニーは「グッド ビジュアル賞」を受賞しました。

3年生から6年生まで29人が心を合わせて演奏した曲は、「政宗」を題材に7曲を組み合わせ編曲した6分30秒の曲で、甲冑をイメージした赤い衣装をまとい、パフォーマンスを披露しました。子供たちと指導された先生方、多くの関係の皆様のご頑張りに心から拍手を送りたいと思います。

◇JOCジュニアオリンピックカップ2021出場について

今年度の各種大会での活躍により秋田県スキー連盟の推薦を受け、神代中学校3年の遠藤卓(えんどう たく)さん、2年の佐藤駿太(さとう しゅんた)さんが、3月12日から15日に北海道名寄市で開催される、JOCジュニアオリンピックカップ2021全日本ジュニアスキー選手権大会クロスカントリー競技に秋田県代表として出場することになりました。活躍を期待したいと思います。

【総合給食センター】

◇スペシャル給食について

毎年卒業学年を対象に実施しておりましたバイキング給食は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の観点から、今年度は実施できない状況にあると判断しました。

そこで、実施内容について検討した結果、今年度は献立を豪華にしたスペシャル給食とし、12月10日に角館小学校、14日に神代小学校、15日に神代中学校、16日に生保内中学校、22日に白岩小学校と桧木内小学校、24日に西明寺小学校、2月9日に桧木内中学校で実施しました。例年のバイキング給食と違い、おしゃべりは控えて、静かに食事を楽しんでいました。

今後は、生保内小学校と西明寺中学校が2月25日、角館中学校が26日に実施する予定です。

◇学校給食への県産牛利用促進について

「コロナに負けず がんばろう！学校給食に秋田牛」と題し、秋田牛を使用した給食を提供しました。これは、新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴う消費拡大に向けた国の緊急対策補助金を活用した事業で、学校給食での活用を促進することにより、児童・生徒に県産牛肉の味を認識してもらうとともに、県内における家庭消費の拡大を促進することを目的としたものです。

総合給食センターでは、9月16日に秋田牛を使用したハヤシライス、11月18日に仙北市産黒毛和牛を使用した牛丼煮、12月21日に仙北市産黒毛和牛を使用したビーフシチュー、2月10日に仙北市産黒毛和牛を使用したハヤシライスを提供しました。

子供たちは、「肉が溶ける感じがする」「肉がやわらかくて美味しい」と終始笑顔で地元の食材を堪能していました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇読書感想文コンクールについて

今年度も恒例の仙北市読書感想文コンクールを開催し、市内各校から選抜された95点の応募作品の中から27人の入賞者が決定しました。

最優秀賞の仙北市長賞は、小・中学校の部で、西明寺中学校3年の佐藤優美(さとう ゆうみ)さん、高校の部で、角館高等学校2年の鈴木愛唯(すずき めい)さんが受賞しました。仙北市教育長賞には、西明寺小学校2年の菅原丈路(すがわら じょうじ)さん、同じく角館小学校6年の村岡すみれ(むらおか すみれ)さん、角館高等学校3年の富樫繪(とがし りん)さんが入賞しました。

また、角館図書館後援会長賞が角館小学校3年の戸澤穂乃(とざわ ほの)さん、角館高等学校1年の三河野々香(みかわ ののか)さん、株式会社新潮社からの新潮文庫賞が、西明寺中学校3年の佐藤優美(さとう ゆうみ)さん、角館高等学校1年の鈴木未来(すずき みく)さんに贈られました。佐藤優美さんは市長賞とのダブル受賞となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、表彰式は行わず、各学校に伝達をお願いしました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。